



## 福島連盟の節目の年を振り返って

ボーイスカウト福島連盟 理事長 夏井 宏



スカウトの皆さん、元気にスカウティングしていますか？ 育成会の皆さまにおかれましてはスカウトたちへのご支援、本運動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。

2024年度は、福島連盟にとって創立75周年の記念すべき年でした。

8月にはコロナ禍で4年延期されていた第13回日本アグーナリーが国立磐梯青少年交流の家を会場に950人を超える参加者で開催されました。本県での全国規模の大会運営は初めてのことで、スカウト関係者をはじめこの運動にご賛同いただいた皆さまのご協力のお陰で成功のうちに終わることができました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。



大会には皇室を代表して秋篠宮佳子内親王殿下もお越しになりスカウトたちに温かいお言葉をかけてくださいました。

また、周年事業として先達の碑入魂式、スカウトラリー、記念誌の発行など年間を通して県連盟主催の様々な記念事業が展開され、特に11月のスカウトラリーでは須賀川市の翠ヶ丘公園を会場に、ボーイ隊による工夫を凝らした秋寒での野営やカブ隊、ビーバー隊のラリーなど多くのスカウトが連盟の75周年を祝いました。

2025年の夏は岩手県において第7回北海道・東北ブロックキャンポリーが開催されます。2016年に猪苗代湖畔天神浜で開催されて以来、9年ぶりの大会となり本連盟からも多くのスカウトを送り出したいと思いますので皆さんで参加しましょう。

今後もよりよい青少年の健全育成のため、育成会の皆さまにはスカウトたちの成長を応援いただきたいと思います。指導者の皆さまには、引き続きスカウトたちへの温かい見守りと心のこもったご指導をお願いいたします。

## ボーイスカウト福島連盟指導者の皆様へ

県コミッショナー 渡辺 千春

県内指導者の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様には平素よりスカウト活動に多大なるご協力をいただき誠にありがとうございます。

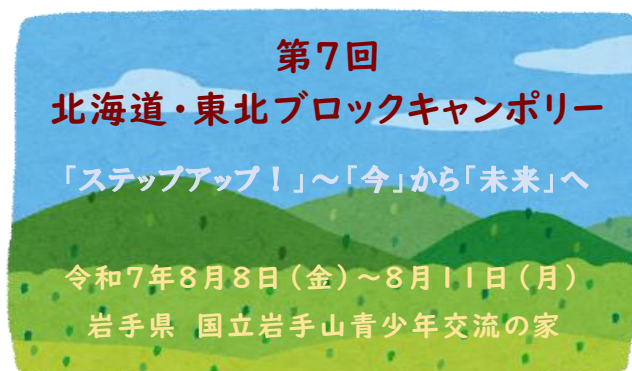
私たち指導者の使命は次世代を担うスカウト達に、リーダーシップ、協力、思いやりの心を育む場を提供することであり、これからの活動においては、スカウト達の「挑戦する力」を引き出し自主的に学び、成長できる環境を整えていくことが重要です。地域の自然や文化を活用したプログラムを展開し、また地域社会と連携し、ボランティア活動や防災教育に取り組むことでスカウト達に社会貢献の意義を伝える機会や増え続ける自然災害への対応を考える機会を増やしていきたいと考えております。

指導者の皆様におかれましては、スカウト達に寄り添いながら、スカウト達の自主性を尊重しつつサポートを続けることをお願いいたします。また指導者同士の情報共有や自らのスキルアップも心がけてください。私たち指導者の一人一人の努力が積み重なる事で福島連盟全体の成長につながります。

昨年は皆様のご協力のおかげで第13回日本アグーナリーを無事に終えることが出来ました。今年は8月に岩手県にて第7回北海道・東北ブロックキャンポリーが開催されます。

より多くのスカウト、指導者の参加をお願いします。

弥栄



### 第13回日本アグーナリー 「磐梯の夕べ」



13NA 福島連盟「磐梯の夕べ」  
実行委員長 安田 喜好  
(福島連盟副理事長)

第13回日本アグーナリーは、昨年8月9日より開催され、最終日前夜の8月11日には福島連盟が主管する「磐梯の夕べ」を実施いたしました。

台風の影響が懸念されたため、会場は当初予定していた屋外ステージ広場から屋内へと急遽、二日前に変更となりましたが、各運営

団体の皆様のご理解とご協力により、当初のプログラムを予定通り実施することができました。改めて感謝申し上げます。

夜店の運営につきましては、県内各地区や東北各県連、そして県内の諸団体の皆様のご協力をいただき、21ブースを設置いたしました。各ブースでは、体験型プログラムをはじめ、かき氷、綿あめ、玉こんにゃくなどの飲食物の提供も行っていただき、参加者の皆様にお楽しみいただきました。

また、ステージショーでは、あさか開成高校フラ・タヒチアダンス同好会によるダンス披露、会津若松市の「チーム獅」による演舞披露、さらにウルトラマンショーを実施いたしました。

プログラムの最後には、あさか開成高校の生徒の皆様のご指導のもと、参加者全員でフラダンスを踊り、「磐梯の夕べ」を大いに盛り上げていただきました。

フィナーレでは、屋外にて無事花火を打ち上げることができ、参加したスカウトたちにとって楽しく、そして思い出深い最終日の夜となったことと存じます。



今回の事業を通じて、ボーイスカウト関係以外の団体の皆様にも、ボーイスカウトの存在と活動内容をご理解いただけたことは、事業の成功とともに非常に意義深いことと考えております。

これを機に、ボーイスカウト運動にこれまで以上のご関心をお寄せいただき、今後ともご支援を賜れますことを心よりお願い申し上げます。

最後に、「磐梯の夕べ」に携わってくださった全ての皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

また、本事業にご協賛いただきました福島県内の企業および個人の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。



## 第 13 回日本アグーナリー 福島連盟派遣隊を振り返り

派遣隊長 佐藤 孟  
(福島第1団 BS 隊長)

今回のアグーナリーは福島連盟派遣隊という形で県内のスカウトが一隊を編成し参加することになった。参加スカウトの中には原隊において十分な人数のいる者ばかりではなく【初めて経験する標準隊人数での活動】となったスカウトも多かった。派遣隊員はボーイスカウトの標準的な班長会議・グリーンバー会議を中心とした隊運営、班長を中心とした班活動、班内での役割分担、班対抗ゲーム等の【自治】を実施することとなり、大会とは別に貴重なスカウト経験を得ることができたと思う。

全国レベルの大会であるために他県・他国のスカウトとの交流、ハンディキャップのあるスカウトとの交流・理解の機会が多く設定されており、隊員は積極的に外に出て交流会等に参加できていた。他大会と違って基本的に自炊が無かったことも、交流のための時間的・精神的余裕の確保に寄与していた。



プログラムに関してもスカウトが参加したくなるような内容のものが多種多様に用意されており、参加への予約が原則不要である事・単一会場である事等により班集会の決定に基づいてプログラムへの自由な参加が可能であった。

台風が接近した最終日は舎営に移行することとなったが、大会運営の適切な指示と班行動に慣れてきた派遣隊員により撤営・移動はスムーズだった。派遣隊は大部屋で他テント・他県スカウトと同部屋になったことから改めて交流を持つことができ、舎営移行は台風接近抜きに満足のいくものだった。



## 75周年を迎えて

プログラム委員会  
委員長 吉田秀樹

今年度は、指導者の皆様にとってとても忙しい年だったと思います。

特にスカウトラリーは13NA後の行事だったので、休むことも許されず大変だったことをお詫びと共にお礼申し上げます。

さて、スカウトラリーですが、須賀川市(光の国姉妹都市)翠ヶ丘公園にて「光を求めて」をテーマにビーバースカウトからボーイスカウト(約250名)が展開致しました。

スカウトラリーはボーイ部門の野営(2泊3日)からスタートし、中日はビーバーカブラリー、技能大会3日目は技能大会の表彰、撤収の流れでした。

ビーバーカブラリーはスカウトにとって良い体験になったと思います。県内にこんなに沢山のスカウトがいることの実感をできたと感じられます。



技能大会はボーイ部門の1年に1回のスキルを競う場であります。今年はまる1日かけて結索、手旗、計測、キムス、ナイトゲーム(宝探し)の5つを競い合い、地区や団の様々な色が出て、スカウト達は難を笑いに変え、楽しそうに競っていました。

プログラム委員長の思いとしては、ビーバーやカブのスカウト達が、ボーイ隊の格好い姿を見て上進に繋がればと思い、3部門合同開催に致しました。

来年度は、スカウト達のニーズを取り入れ、スカウト達が出て来たくするようなプログラムの展開を目指して、各部門の向上を図りたいと思います。



## ボーイスカウト福島連盟75周年「先達の碑 入魂式」

令和6年10月27日(日)に「つつじが森野営場(福島市)」にて執り行われました。



今回の合祀者は、次の方々です。

故 赤城 良一	霊位	県連先達	令和元年 11月 15日 逝去
故 四家 博三郎	霊位	県連先達	令和 2年 4月 14日 逝去
故 安齋 精児	霊位	元理事長	令和 2年 10月 9日 逝去
故 笠原 憲昭	霊位	県連先達	令和 3年 10月 22日 逝去
故 國馬 善郎	霊位	県連先達	令和 4年 2月 22日 逝去
故 服部 弘一	霊位	元学識経験者理事	令和 4年 12月 23日 逝去
故 木田 晃平	霊位	県連先達	令和 5年 1月 10日 逝去
故 佐々木 道昇	霊位	県連先達	令和 6年 7月 24日 逝去
故 工藤 信行	霊位	県連先達	令和 6年 9月 9日 逝去

(没年月日順)

### 編集後記

令和6年度は、福島連盟にとっても一大事業であった第13回日本アグーナリーの成功や連盟75周年スカウトラリーの開催など、意義ある節目の年となりました。ご支援ご協力いただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。

さて、総務委員会として、「つつじ259号」の発行の遅れや連盟HP等による情報発信が十分に行うことが出来ず、大変申し訳なく思っております。今後は、HPやSNS等に精通している指導者等の皆様にもご協力いただきながら、連盟HPの見直しも含め情報発信の工夫に取り組みたいと考えております。県内指導者の皆様には、引き続き活動情報等をお寄せくださいますようご協力をよろしくお願い申し上げます。